

<p>【本校の使命・存在意義】 学習指導要領の方向性を踏まえ、基礎学力の定着、専門的な知識や技能の向上を図りつつ、主体的・対話的で深い学びを重視する中で、STEAM教育や課題解決学習を展開することにより、思考力・判断力・表現力を育成する。これらを推進することで、将来を見据えた行動力があり、社会の変化に柔軟に対応できる創造力豊かな「人財」や地方創生を支える「人財」を育成することで、地域とともに発展する工業高校を目指す。 【キーワード：「地域で活躍できる「人財」の育成」】</p>			
<p>【本校の目指す姿】 → 生徒一人一人が大切にされ、笠工生としての誇りと自信を身に付けさせる。 【キーワード：徹底】</p>			
<p>【「人財」育成】 社会人としてのマナーや確かな職業観・勤労観を持ち、意欲的で我慢強さや責任感を身に付けた「人財」を育成する。</p>	<p>【学力向上】 基礎的な学力と教養を身に付けるとともに、豊かな専門的な知識や技術・技能を有する「人財」を育成する。</p>	<p>【地域との連携】 地域社会のニーズや保護者の期待に応え、地域との連携を密にして、より一層開かれた学校づくりを推進する。</p>	<p>【魅力的な学校づくり】 再編整備PTでの新校の検討を進め、学習環境を有効に活用し全教職員が自己の資質向上、専門性の深化に努め、生徒にとって魅力的な学校づくりを推進する。</p>
<p>○規範意識の向上、基本的生活習慣の確立 1-1 地域で活躍できる「人財」の育成 約束事を守る、学習環境の整備、個を大切にする指導、SC・SSW等校外専門家の有効活用 ※ 目標：年間遅刻数 200件以下、特別指導数 5件以下 ・挨拶運動の推進（校内・校外） （立ち止まって先言後礼の習慣化、「時を守り、場を清め、礼を正す」ことの推進） ・規律ある集団の育成と、社会人として通用する言葉遣いや態度、コミュニケーション能力、忍耐力の育成（返事・挨拶・服装、清掃活動【5S】、言語環境等、きめ細かい指導の推進） ・実習時における規律指導、校歌指導の統一 ・遅刻者・欠席者の減少 ・家庭での時間の過ごし方の実態・遅刻者の調査 ・生活時間帯の改善、時間を守る指導の徹底 ・健康に対する自己管理の徹底 ・褒めの教育の推進 よいところを積極的に見つけ、褒めることによる自己有用感の醸成 ・あっぱれカードの積極的な発行</p>	<p>○基礎学力の向上、学習環境の整備 2-1 授業規律の確立、「笠工授業5」の徹底 ICTを有効活用した「考える楽しさ」「わかる喜び」「主体的に学ぶ」授業実践 ※ 目標：基礎学力C₂以上の生徒3割 ・低学力の生徒への学び直し、基礎学力の向上と学習の方法そのものを教える指導(ガイダンス)の徹底 ・興味を持てる、わかりやすい授業の推進（ICT機器の有効活用） ・「主体的・対話的で深い学び」による、思考力・判断力・表現力が高まる授業の推進 ・PBL（課題解決型学習）による、生徒が達成感を味わえる授業の推進 ・総合的な探究の時間における「探究活動」の充実 ・座学と実習の相乗効果を上げる教育の推進 ・基礎学・SPIの効果的実施、ポートフォリオと連動した「進路力診断カルテ」の活用等、教科担任・クラス担任・進路課の連携による指導の推進 ・不勉強率（授業以外の学習時間）の改善 ・家庭学習に取り組むための計画的な宿題の設定 ※30分未満/日の生徒40%以下、0分/日の生徒0% ・成績不振者への対応（夏休み・2学期末・学年末等）</p>	<p>○地域連携・学校間連携 3-1 笠工テクノ工房、ボランティア活動等のさらなる推進 地域から信頼され、必要とされる「笠工」づくりの推進 ※ 目標：R8年度入学生 全学科定員確保 HPアクセスランキング5位以内 ・学校開放の推進 親子ものづくり教室、中学校への出前授業の実施 オープンスクールの効果的な実施日の設定（笠岡市や小中学校、市教委との連携強化） ・市内県立3校や地元企業、福山大学との連携（ルームワーカー（株）でのデュアルシステムの導入 笠岡高 AKT 授業、笠岡商高との合同課題研究の推進） ・オープンスクールや学校行事等の活動の推進（広報横断幕の設置、実施時期の検討） ・クラス通信、学年通信、課室通信、保健・相談日より等の発行による生徒、保護者への情報提供の推進 ・笠工HP、ブログ、ゆめのわ等を効果的に活用したリアルタイムな情報発信の推進（新情報への積極的な更新） ・保護者会、PTA活動の更なる充実 ・芸術鑑賞への招待及び進路情報資料の活用機会の拡大 ・安全安心な学校づくりの推進 防災等に係る地域自治会等との協力体制の推進 ・思春期サポート事業やSC・SSW等、外部専門家との連携推進、強化 ・人権教育・学校保健の推進</p>	<p>○ものづくり教育の推進 4-1 「笠工テクノ工房」を通じた、地域貢献活動やものづくり教育の推進、広報活動のさらなる推進（HP、ブログ、報道機関との連携） ※ 目標とする各種競技会・コンテスト等 【M】高校生ものづくりコンテスト溶接作業部門 全国大会 【M】中国地区高校生溶接技術<圧力容器>競技会 【M】全国高等学校ゼロハンカー大会 【ME】全国高等学校ロボット競技大会 【E】全国ソーラーラジコンコンカーテスト 【E】ジャパンマイコンカーラリー 【C】コンクリート甲子園 【C】環境教育事業・インフラメンテナンス事業 【C】中国地区測量競技大会・中国地区製図コンクール ・上位進出するための指導技術の向上 ・地元企業・関係団体との連携強化 ・高度な技術指導向上を目指した研修会等への参加 ・ものづくりに係る部活動の推進、部員の確保（機械工作部、電気工作部、土木研究部） ・大会上位進出を目指した計画的な活動計画の作成 ・ブログ等による活動状況等の効果的な情報発信 ・ものづくり関連予算の確保 （実験実習費・外部団体等の研究助成における申請）</p>
<p>○部活動の活性化・効率化 1-2 部活動を通じた競技力や人間力の向上、社会人基礎力の育成を目指す活動の推進 ※ 目標：入部率70%以上 ・中学校との連携強化、笠岡市内県立3校との連携推進 ・積極的な入部の勧誘と実活動人数及び活動実績の向上 ・年3回の入部状況の把握 ・生徒の居場所づくりの推進 （退部させないようにする工夫、退部した生徒のフォロー） ・ブログ等による活動状況の効果的な情報発信 ・効率的な指導や最終下校時刻の徹底 ・部活動休養日の確実な実施</p>	<p>○高度な国家資格等への積極的な挑戦 2-2 専門学科として必要な資格を確実に取得させるための計画的な指導の推進（家庭学習を含む） 【M】技能検定3級受験者の合格 90%以上 【E】電気工事士 2年次50%以上、卒業次100% 【C】2級土木施工管理技術検定試験合格 20名以上 ・ジュニアマイスター、職業・工業教育技術顕彰の推進 ※ ジュニアマイスター R06：22名 ※ 職業教育技術顕彰 R06：27名 ※ 工業教育技術顕彰 R06：9名 ・入学時からの資格取得の推進、補習計画の作成 ・部活動との両立（担任・専門科・顧問の連携） ・資格取得支援のための図書の実施</p>	<p>○進路指導・キャリア教育の推進 3-2 キャリア教育全体計画や体験的な学習にもとづいた系統的なキャリア教育の推進 ※ 目標：年内進路決定 100% ・入学当初からの体験的なキャリア教育の推進（工場見学・インターンシップ・企業説明会等） ・キャリアパスポートの活用 ・キャリア教育関連図書の充実 ・生徒・保護者・地域の希望に応える就職・進学先の確保（希望重視の進路指導の推進） ・就職内定先企業との生徒面談の実施 ・進学指導の充実（6年連続国公立大学合格）</p>	<p>○学習環境整備の推進 4-2 5軸MC、レーザー加工機、3Dプリンタ等先端技術の効果的な活用・推進 Wi-Fi環境、タブレット、プロジェクタ等のICT活用による授業改善の実施 ※ 目標：校外研究助成 4本以上 ・HR教室、実験実習室の整理整頓、安全教育の徹底 ・不必要な実習機器、工作機械の廃棄 ・最先端実習機器、工作機械の計画的な更新 ・特別教室、専門学科実験実習室におけるWi-Fi環境整備 ・専門学科の特徴を生かしたPBLの推進 ・地元企業、市役所等との連携強化</p>